

あ ゆ ち
Ayuuchi
[No.89/2021.5]



「動物と私」 下平知明さん作

金鯱、舞い降りる

名古屋のシンボルとして親しまれている名古屋城の金鯱が、二〇二二年、地上に舞い降りました。江戸時代に誕生した初代から昭和に復元された二代目まで、その歴史は意外と波乱万丈。金鯱に、どんな物語があったのか。名古屋城調査研究センターの学芸員、朝日美砂子さんにお話を伺いました。

江戸の匠の技で誕生

徳川家康の天下普請で、慶長七（一六二二）年に完成した名古屋城。大天守の屋根には、一对の金鯱が光り輝いていた。その豪華絢爛な姿と、雨ざらしにする大胆さに、当時の人々は舌を巻き、金鯱のうわさは日本中に広まっていた。

金鯱のうろこは、銅板で裏打ちされた分厚い金の板で作られている。その一枚一枚を、鉛で覆った寄せ木の芯木に銅釘で打ち付けて固定。強風を受け



雄

（名古屋城大天守北側）
ちょっとやんちゃな感じ？
シュッと垂直に反りあがる、細い
体の特徴。精悍な眼に、グワッと
開かれた口が、格好良さを引き立
てている。（朝日さん談）

雄で、南側が雌。
た大きな尾ひれと鋭いとげ
屋のまちを見守るきりっとし
し大きい。雌のほうかうろこ
びやか。見分けられるかな？



口で屋根を食んで固定。
金鯱の口の中に屋根の部材を入れ、
しっかり留められている。

お父さんと 金鯱には雄



名古屋城大天守の北側が
特徴は、空に撥ね上げられ
のついた背中。そして、名古
た眼。大きさは雄のほうが少
の枚数が多いため、少しきら

雌

（名古屋城大天守南側）
肝っ玉母さんのような感じ？
ゆるやかな曲線で反りあがる、ぼっ
ちやりとした体の特徴。全体に丸
みを帯びた、あたたかな雰囲気
を醸し出している。（朝日さん談）

金鯱だけではない！名古屋城の鯱



名古屋城には大天守の金鯱以
外にも、瓦鯱などたくさん鯱
が小天守や櫓、門の屋根を飾っ
ていた。昭和二〇（一九四五）
年の空襲でほとんどを失うが、焼
け残った江戸時代の鯱もある。

正門や表一之門に掲げられた銅鯱だ。
ただこの銅鯱、正確には元々名古屋城
にあったものではない。明治時代に天皇
の御宿泊所となった名古屋城に、江戸城

金シャチの仕様		
	初代	二代目
制作年	慶長17年(1612年)	昭和34年(1959年)
大きさ	雄約2.58m(8尺5寸) 雌約2.52m(8尺3寸)	雄2.621m 雌2.579m
金の品質	20金	18金
金板の厚さ	—	0.15mm
金の重量	雌雄合わせて慶長小判で 17,975両(320.1kg)	雄45.2kg 雌43.4kg
うろこの枚数	雄194枚・雌236枚	雄112枚・雌126枚
白眼・歯の素材	銀	銀
黒眼の品質	赤銅	赤銅
原型の材質	木材(寄せ木造り)	青銅(鋳物)

から移されたもの。大きさは金鯱の半分
くらいだが、立派な姿をしている。

江戸城の鯱ではあるが、名古屋城の金
鯱をお手本にしているため形状はほぼ同
じ。名古屋城の鯱とも言える。

そもそも 鯱って何？

鯱とは、頭が
虎で体は魚
の想像上の生
き物。起源の一説
として言われているのが、
中国の古い書物『事物起
源』に書かれている水の精、
「鰐尾」。火災を避ける水の
守り神として、屋根に掲げられ
ていた。この鰐尾が時代とともに
に形を変え、今のような慣れ親し
む鯱の形となった。



銅鯱

金鯱の受難

江戸時代、華々しく名古屋の空に登場した金鯱も、時代の波には逆らえず、数々の困難にあった。

第一の受難 うろこが錆直される

尾張藩が、財政が苦しくなるたびに目をつけたのが、金鯱。記録によれば、享保一五（一七三〇）年、文政一〇（一八二七）年、弘化三（一八四六）年の三回にわたって、うろこの一部が小判に錆直されている。改鑄のたびにうろこの金板は薄くなり、輝きも鈍いものに。

そして、一回目の改鑄後、金鯱は金網に覆われてしまう。鳥についばまれるのを防ぐためと言われているが、実は輝きの落ちた姿を隠すためとも…。身を投げうって尾張藩を救おうとした金鯱。残念ながら、



名古屋鯱三題乃内 雪の犬山を望む
一般財団法人名古屋城振興協会 提供

その効果はなく、尾張藩の赤字は続いた。

第二の受難 取り壊しの危機

明治になり、名古屋藩知事となった名古屋城最後の城主、徳川慶勝。明治三（一八七〇）年に、金鯱は無用の長物とし、宮内省への献納を申し出、翌年には大天守から降ろされ東京へ。東京で待ち受けていたのは、錆つぶしの運命…。

この危機を救ったのが、当時の日本駐在ドイツ公使マックス・フォン・プラント氏だ。プラント公使らの、名古屋城と金鯱がどれだけ素晴らしく、歴史的価値があるかという訴えにより取り壊しは中止に。その後、姫路城とともに永久保存することが陸軍省などにより決定される。まさに金鯱取り壊しの危機一髪だった。

第三の受難 うろこが盗まれる

明治以降、金鯱のうろこは三回盗まれている。特に世間を賑わせたのが、昭和一二（一九三七）年の「昭和の金助」事件だ。当時四〇代の大坂の男性が、一般参加者を装って城内へ。息を潜めて深夜になるのを待ち、名古屋市が実測調査で組んだ足場を伝って、北側の雄の金鯱からうろこ五八枚を盗む。

事件名の金助は、江戸時代に実際にいた盗賊の柿木金助が、大風に乗って金鯱



屋市旗の竿頭と茶金に形を変え、輝きを放っている。



市民の声で復元

戦後、名古屋城の復活を望む市民の声により、金鯱は大天守の再建とともに復元。史料や写真などが豊富に残っており、初代の金鯱と同じ姿で蘇らせることができた。ちなみに作り方は、芯木が寄せ木から青銅に代えられただけで、うろこの作り方などは初代と同じ。ただ、うろこの金板の厚さは極薄になってしまった。

二代目のうろこの金板の

取り付け加工は、大量の金を扱うため大阪造幣局に依頼。一枚一枚に、大阪造幣局のロゴと数字が刻印されている。



旅する金鯱

明治時代、宮内省へ献納された後、金鯱は様々な地を旅することになる。

雄の金鯱は湯島聖堂で開催された日本初の博覧会（明治五（一八七二）



元昌平坂聖堂二於テ 博覧会図 一般財団法人名古屋城振興協会 提供

のうろこを三枚盗んだという伝説になぞらえられている。

初代の金鯱は泥棒たちの格好的となり、何度も狙われたが二代目金鯱は、まだ一度も盗まれていない。

第四の受難 戦火に巻き込まれる

太平洋戦争で名古屋への空襲の激しさが増す昭和二〇（一九四五）年、金鯱の疎開が計画されていた。だが、地上へ降ろす途中に大空襲にあい、大天守とともに焼け落ちてしまった。



進駐軍の摂取から逃れた金鯱のうろこ
戦火を受けて輝きを失ったものなどあり、空襲の激しさを伝える貴重な歴史的遺産。
名古屋城総合事務所 提供

初代雌の金鯱の残骸が焼け跡から見つかるが、進駐軍に摂取されてしまう。昭和四二（一九六七）年、六・六キロの金塊となって名古屋市へ返還され、現在は名古屋

人々の誇りとして

誕生から四〇〇年を超える金鯱。現代の金鯱は二代目だが、その身にはすべての時代の歴史とともに、人々の様々な思いが凝縮されている。「鯱の造形というだけではなく、人々に力を与えてくれるもの」と、今回お話を伺った



学芸員の朝日さん

朝日さんは、金鯱の魅力を教えてくれた。いつの時代も人々のすぐ側に寄り添ってきた金鯱。これからも変わらぬ力強い姿で、見守り続けてくれるだろう。

名古屋城金シャチ特別展覧

本物を間近でみよう！

7月11日(日)まで 午前10時～午後8時(入場は開場30分前まで)

●入場料：500円(小学生以上)

●場所：栄・ミツコシマエ ヒロバス
(名古屋市中区栄3丁目5-10の先(久屋大通公園内))

主催／名古屋城金シャチ特別展覧実行委員会
(名古屋市、名古屋商工会議所、中部経済連合会、中日新聞社、東海テレビ放送、東海ラジオ放送、名古屋城振興協会、名古屋観光コンベンションビューロー)

共催／ヒロバス運営委員会

特別協賛／株式会社トップ、大日本印章株式会社



始めるのに、 遅すぎるといふことはない。 チャレンジの気持ちで前を向いて。

森田利洋

(愛知県教育・スポーツ振興財団 理事長
愛銀教育文化財団 評議員)



■森田利洋 プロフィール

1959年、豊橋市生まれ。名古屋大学経済学部卒。1982年、愛知県庁に入庁。愛知県産業労働部次長、愛知県東三河総局長、愛知県環境局長を歴任し、2020年より公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団理事長に就任。SDGsの理念と当財団のスポーツ・教育・文化の振興事業が同じと考え、子供も大人も、「生涯スポーツ」「生涯学習」として親しめる多彩なプログラムを発信。県民一人ひとりが健康に、生き生きと毎日を楽しめるよう、様々なことにチャレンジ精神で取り組んでいる。

「世の中で変わらないのは、変わるということだけ」という言葉があります。自然や社会など、私たちを取り巻く環境が常に変化している中で、戒めの意味を込めて、いつも思っている言葉です。そして、今回のコロナ禍で、この言葉の意味を改めて強く痛感しました。全世界で経済など様々なことが止まってしまい、日常生活に至るまであらゆる面で大きな影響がありました。本当に、ダイナミックな社会変化につながるような話です。

どうしても人は、今のままで良いと思いがちですが、変化する世の中において、やはりそれではダメなんですよ。渋沢栄一さんの「現状維持にはリスクが潜んでいる」という言葉ではないですが、現状を守り続けるだけでは、自分だけが取り残されてしまいます。だからこそ、大きく変化する今の時代、核として守るべきところは守りつつ、一歩先を見据えて何ができるのかということを考えていくことが大切なのではないでしょうか。そして失敗しても、チャレンジしていく。その気持ちで、何事にも取り組んでいきたいですね。「ピンチはチャンス」と言いますが、今がまさにその時かもしれません。

現在、私が所属している愛知県教育・スポーツ振興財団においてもそうです。管理しているスポーツ施設や社会教育施設などで教室やセミナーを開催した場合、そこへ来て参加していただくことが普通でした。ですがコロナ禍という状況で、施設の利用にも制限がかかり、その普通のことのできない状況に。そこで、一つの試みとして取り組み始めたのが、オンラインによる開催です。まずは、セミナーやヨガ教室、体幹トレーニング教室などから始めています。が、いろいろなことに気づかされました。

例えば、開催会場まで遠くて諦めていた。定員に達して参加できなかった。運動を始めてみたいけど、体力に自信がない、恥ずかしいから躊躇してしまった、など。様々な理由で、興味はあるけど参加できなかったり、二の足を踏んでいた方々がいるということ。そして、その方々のハードルを下げてくれるのが、オンラインというもののなんですよ。だから、まずはきつかけとして、オンラインで体験してもらおう。そこでさらに深めたり、コミュニケーションを楽しみたいと思われた方は、実際に開催している現地へ来てもらう。どなたでも、どこからでも平等に参加できるオンラインという選択肢を増やすことで、様々な活動のすそ野を広げていけるのではないかと思います。

目標は、生涯スポーツ。県民一人ひとりが、日常の健康につながるような、取り組みやすい運動やスポーツを普及していくことです。日々の生活の中で、なかなか運動をする機会は少ないですから、運動に慣れる習慣を身につけられ、皆さんの健康づくりに役立つ場になればと思っています。健康であることが、何をするにおいても一番ベースとなり、大切なことですから。そこで今、特に力を入れているのが、ニュースポーツ。細かなルールに縛られず、グループやご家族で和気あい

あいと楽しめる新しいスポーツのことです。代表的なものに、パラリンピックの競技種目にもなっているボッチャや、柔らかい円盤のあてをするディスクゲッター9などがあります。これまではイベントなどで体験してもらっていましたが、現在は常日頃から道具を貸出し、遊び感覚で気軽に体験してもらえるようにしています。小さな

ポーツ振興財団においてもそうです。管理しているスポーツ施設や社会教育施設などで教室やセミナーを開催した場合、そこへ来て参加していただくことが普通でした。ですがコロナ禍という状況で、施設の利用にも制限がかかり、その普通のことのできない状況に。そこで、一つの試みとして取り組み始めたのが、オンラインによる開催です。まずは、セミナーやヨガ教室、体幹トレーニング教室などから始めています。が、いろいろなことに気づかされました。

例えば、開催会場まで遠くて諦めていた。定員に達して参加できなかった。運動を始めてみたいけど、体力に自信がない、恥ずかしいから躊躇してしまった、など。様々な理由で、興味はあるけど参加できなかったり、二の足を踏んでいた方々がいるということ。そして、その方々のハードルを下げてくれるのが、オンラインというもののなんですよ。だから、まずはきつかけとして、オンラインで体験してもらおう。そこでさらに深めたり、コミュニケーションを楽しみたいと思われた方は、実際に開催している現地へ来てもらう。どなたでも、どこからでも平等に参加できるオンラインという選択肢を増やすことで、様々な活動のすそ野を広げていけるのではないかと思います。



目標は、生涯スポーツ。県民一人ひとりが、日常の健康につながるような、取り組みやすい運動やスポーツを普及していくことです。日々の生活の中で、なかなか運動をする機会は少ないですから、運動に慣れる習慣を身につけられ、皆さんの健康づくりに役立つ場になればと思っています。健康であることが、何をするにおいても一番ベースとなり、大切なことですから。そこで今、特に力を入れているのが、ニュースポーツ。細かなルールに縛られず、グループやご家族で和気あい

あいと楽しめる新しいスポーツのことです。代表的なものに、パラリンピックの競技種目にもなっているボッチャや、柔らかい円盤のあてをするディスクゲッター9などがあります。これまではイベントなどで体験してもらっていましたが、現在は常日頃から道具を貸出し、遊び感覚で気軽に体験してもらえるようにしています。小さな

新型コロナウイルスの影響で世の中がかわってしまった時、最初は功罪の「罪」のほうばかりに目がいきましたが、「功」もあると気づきました。ウィズコロナで変化に対応していかなければならない流れの中で、何かを始めるのに遅すぎるといふことはなく、チャレンジしていくことが大事なのだと。私も、味気なさそうと思っていたオンライン飲み会にチャレンジしてみようかな。案外おもしろかったりするのかもしれないですね(笑)。ー談ー

例えば、恐竜の化石の産地で有名な手取層群では、一〇〇個以上のアンモナイトの化石などを発見。この地層の時代を決定づけるものとなった。また、世界的に貴重な化石も、いくつか掘り出した。その一つが、発

子供達に少しでも自然科学の楽しさを感じてもらいたいと思ひ、講演会や発掘体験などを実施。五〇年を超える発掘活動で、数えきれないほどの化石を掘り出している。



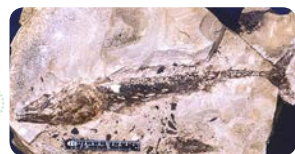
▲ジュラ紀オックスフォード世（約1億6千万年前）のアンモナイトの化石（直径約40cm / 手取層群）

「石を割った瞬間、何千万年、何億年前の時代が、そこにあります。ジュラ紀などその時代の海のジオラマが、一気に頭の中を駆け巡るんです。ロマンですよね」

化石発掘の魅力を語ってくれたのは、蜂矢喜一郎さん。化石好きが集まって発足した、東海化石研究会の四代目会長だ。会員は現在二二名。小学生から八〇代の方まで、年齢性別を問わず全国に及ぶ。

他にも様々な深海生物の化石、サバやカラスガレイなど魚の化石が出てきており、まさに師崎層群は化石の宝庫。だが、意外とこの事実を愛知県の人々は知らない。県立の自然史博物館がないからだ。

化石を見つけた子供は、一瞬で目が輝く。自然は予想できない驚きや発見があるから面白い。その面白さを伝えるために、東海化石研究会の活動は、ますます広がっていく。



約40cmのサバの化石(師崎層群)



もっと子供達に科学を。 化石で伝えたい自然の面白さ。

地学・化石に対する研究及び社会教育活動等
東海化石研究会
第31回助成(団体)

1968年に、中日新聞社初代会長(当時、中日新聞社専務取締役)であった西澤勇さんを中心に、化石好きが集まり東海化石趣味の会を設立し、後に東海化石研究会となる。研究者の講義や会員の発表の場となる月1回の例会、春と秋を中心に行う巡検、著名な研究者を招いての講演会、親子ふれあい化石教室開催などの活動を展開。創立50周年を記念して「日本のジュラ紀アンモナイト図鑑」を発行。今年度、誰でも参加できるようにクラウドファンディングによる発掘調査を実施予定。



蜂矢喜一郎さん

山田佐多子さんは非営利の Coming O-bird (カミングオーバーード) として、名古屋市天白区を中心に、クラシック音楽に親しむ機会を二十年以上提供している。

「子育てをしていて、生の演奏を見たり聴いたりすることで子供達が心豊かになればいいなと思ったんです」

知人にソプラノ歌手がいた縁もあり、周囲の子育て仲間と協力してホームコンサートを開催することに。場所はピアノがある山田家の居間。

「豪邸ではないので(笑)、三十人ほどがギョツと肩を寄せ合って聴くんです。お金をかけず、主婦ができる範囲でやっています(笑)」



活動も二十年以上を超え、一度原点に戻ろうと考えた。その答えが、子供達に、五感に響く音楽を。との思いで作った『こねこのだいぼうけん』だ。子猫がはぐれてしまったお母さんを探す物語を、オリジナルのイラストと、生演奏・生歌で展開していく。童謡あり、アニメソングあり。そしてクラシックを必ず入れる。山田さんのこだわりだ。

「学生の発表会気分ではダメ。芸術なんだから、ちゃんとしたものを聴きたい。知ら

「結局、自分が楽しいだけかも?(笑)それでいいんだと思っています」



上質なクラシック音楽を 身近で気軽に楽しんでもらいたい。

子供達に“五感に響く音楽”を提供
山田佐多子さん
第30回助成(個人)

1998年に非営利の会であるComing O-birdを作り、自宅でホームコンサートをスタート。2008年からは天白文化小劇場などホールでの演奏会も開催。朝井大(ピアノ)や伝田正秀(ヴァイオリン)など、演奏に参加した若手音楽家達の多くが国内外で活躍している。現在、セントラル愛知交響楽団理事、名古屋おやこセンター副理事長。コロナ禍のために休止しているホームコンサートの再開が待たれる。8月8日に天白文化小劇場で『こねこのだいぼうけん』夏バージョンを公演予定。



A photograph of two men standing side-by-side against a white background. The man on the left is younger, with dark hair, wearing a dark suit, light blue shirt, and blue tie. The man on the right is older, with dark hair, wearing a dark suit, light blue shirt, and a patterned blue tie. Both are smiling slightly.

第32回(令和3年度) 助成対象者募集

募集期間 5月17日(月)～6月30日(水)

募集要項

一般助成

●対象

愛知県内を基盤に、教育及び文化活動の維持発展に努力し、地道に、継続的、独創的な活動を行っている個人又は団体で、次の条件を満たすものとします。

①行政機関(国又は地方公共団体)から助成を受けていないこと。

※助成が反復・継続ではない場合、助成金額が少額の場合はこの限りではありません。

②営利を目的としないこと。

(注)「教育活動」とは社会教育活動(スポーツを含む)を主体とします。「文化活動」とは音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、工芸、文芸、郷土史研究等の分野とします。

●応募または推薦

原則として、個人又は団体からの直接申請としますが、第三者からの推薦申請も認めます。

●助成金の額及び件数

個人に対し、助成金は1件につき30万円を8名以内。団体は1件につき40万円を10団体以内。

●助成金給付の決定及び通知

給付の決定は選考委員会の選考審査を経て、理事長が決定します。結果は書面にて申請者に通知します。

●助成金給付の時期

助成金は決定通知後、1ヶ月以内に給付します。

●申請方法

◇申請用紙は財団事務局または最寄りの愛知銀行窓口にお尋ねください。ホームページからもダウンロードできます。

◇所定の申請書に記入のうえ、5月17日(月)から6月30日(水)までに当財団へ提出してください。ただし郵送の場合は、当日の消印まで有効とします。

高校生への援助

●対象

愛知県内の高等学校における文化及び体育活動。

●援助金の額および件数

援助金は文化活動が30万円単位、体育活動が50万円単位で、各150万円以内。

※応募の際の申請書並びに添付資料はご返却いたしませんのでご了承願います。

※応募された方の個人情報につきましては、当財団事業にて使用させていただき、当財団の個人情報保護方針に基づき適正に管理します。

●申請方法

「文化活動」においては愛知県高等学校文化連盟、「体育活動」においては愛知県高等学校体育連盟の会長推薦が必要です。

※その他、募集期間等については一般助成と同様です。

お問い合わせ先

〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号(愛知銀行本店内)

公益財団法人 愛銀教育文化財団 事務局

☎(052)262-9601 ダイヤルイン

<https://www.aichibank.co.jp/company/csr/foundation/>



あゆち第89号 ● 2021年5月

発行:公益財団法人 愛銀教育文化財団

〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号

愛知銀行本店内 ☎(052)251-3211(代)

<https://www.aichibank.co.jp/company/csr/foundation/>

